2019年度　東京都公立高校入試問題

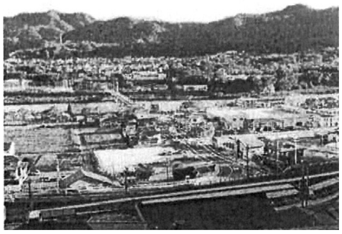
50分
100点

1　次の各問に答えよ。

〔問1〕　次の地形図は，2016年の「国土地理院発行2万5千分の1地形図（上野原（うえのはら））」の一部を拡大して作成した地形図上に●で示したA点から，B～E点の順に，F点まで移動した経路を太線（━━）で示したものである。あとのア～エの写真と文は，地形図上のB～E点のいずれかの地点で野外観察を行った様子を示したものである。地形図上のB～E点のそれぞれに当てはまるのは，あとのア～エのうちではどれか。

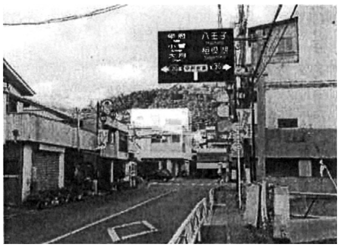
（編集部注：原図を縮小しています。）

ア



登り坂を進んでいる途中で立ち止まり，南の方向を観察すると，桂川(かつらがわ)橋や，鉄道の線路などが見えた。

イ



進行方向には，甲州(こうしゅう)街道と呼ばれている国道 20 号線と交わる丁字型(ていじがた)の交差点が見えた。

ウ

進行方向に延びている直線状の道路の北側には崖があり，南側には道路に沿って鉄道の線路が敷設(ふせつ)されているのが見えた。

エ

進行方向に延びている甲州街道の両側には商店が立ち並ぶ様子を観察することができた。

〔問 2〕　次の文で述べている人物は，あとのア～エのうちのどれか。

この人物は，江戸を中心とした町人文化が発展した時期に，狂言や噺本(はなしぼん)の要素を巧みに取り入れて，弥次郎兵衛(やじろべえ)と喜多八(きたはち)の二人の主人公が行く先々において騒動を起こしながら旅をする姿を描いた「東海道中膝栗毛(とうかいどうちゅうひざくりげ)」を著した。

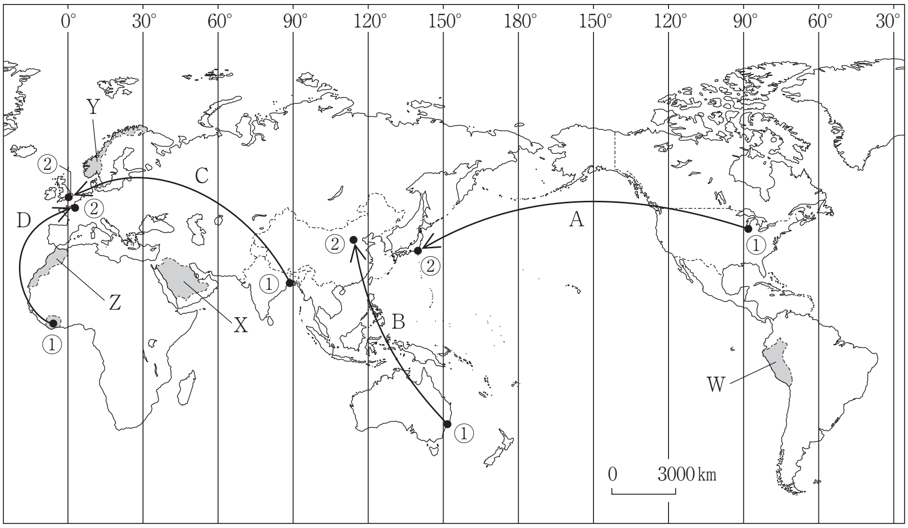
ア　小林一茶(こばやしいっさ)　　イ　十返舎一九(じっぺんしゃいっく)　　ウ　井原西鶴(いはらさいかく)　　エ　近松門左衛門(ちかまつもんざえもん)

〔問 3〕　次の日本国憲法の条文が保障する権利は，あとのア～エのうちのどれか。

> 最高裁判所の裁判官の任命は，その任命後初めて行はれる衆議院議員総選挙の際国民の審査に付し，その後 10 年を経過した後初めて行はれる衆議院議員総選挙の際更に審査に付し，その後も同様とする。

ア　参政権　　イ　自由権　　ウ　社会権　　エ　請求権

2　次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕　略地図中に①●──▶●②で示したA～Dは，農産物の買い付けを行う企業の社員が，それぞれの①の都市にある空港から②の都市にある空港まで，航空機を利用して移動した経路を模式的に示したものである。次のⅠの文章は，A～Dのいずれかの経路における移動の様子などについて述べたものである。Ⅱのア～エのグラフは，A～Dのいずれかの経路における①の都市の，年平均気温と年降水量及び各月の平均気温と降水量を示したものである。Ⅰの文章で述べている経路に当てはまるのは，略地図中のA～Dのうちのどれか，また，その経路における①の都市のグラフに当てはまるのは，Ⅱのア～エのうちのどれか。

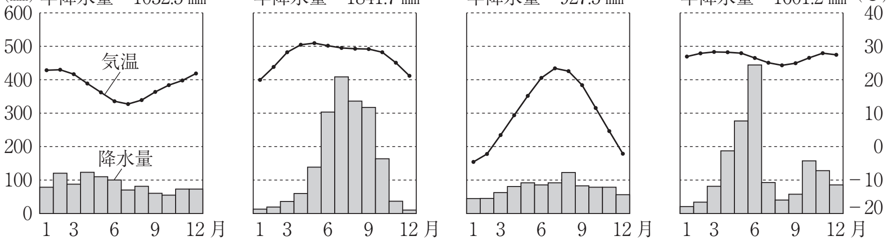
Ⅰ

> この社員は，国際的な穀物市場が立地する①の都市において，とうもろこしの買い付けを行った後，企業が所在する②の都市に移動した。①の都市を現地時間で３月１日午後５時30分に出発し，飛行時間13時間を要して，②の都市の現地時間で３月２日午後９時30分に到着した。

（注）　時差については，サマータイム制度を考慮しない。

Ⅱ

	ア	イ	ウ	エ
年平均気温	18.2℃	27.1℃	9.9℃	26.8℃
年降水量	1032.5㎜	1841.7㎜	927.5㎜	1601.2㎜



（「理科年表」平成30年より作成）

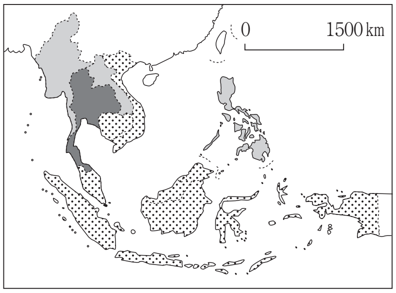
〔問２〕　次の表のア～エは，略地図中に ░ で示したＷ～Ｚのいずれかの国の，2014 年における漁獲量，日本に輸出される魚介類の漁法などについてまとめたものである。略地図中のＷ～Ｚのそれぞれの国に当てはまるのは，次の表のア～エのうちではどれか。

	漁獲量（万 t）	日本に輸出される魚介類の漁法など
ア	7	○首都は内陸部に位置しており，淡水が流れ込みにくいため塩分濃度が高くなっている海水を活用して，日本に輸出されるえびが養殖されている。 ○えびは国内において消費されるとともに，有望な輸出品としても位置付けられており，新たな養殖場を建設するなど，投資を拡大する取り組みが進められている。
イ	137	○首都は国土を東西方向に走る山脈の北側に位置しており，日本に輸出されるたこの漁場周辺では，北から南へ寒流が流れ，たこ壺（つぼ）漁などの漁法が用いられている。 ○たこを日常的に食べる文化は見られないが，たこの輸出促進のため，加工品の冷凍技術や品質管理技術を向上させる取り組みが進められている。
ウ	230	○首都は冬季においても凍らない湾の奥に位置しており，日本に輸出されるさばの漁場周辺では，南から北へ暖流が流れ，まき網漁などの漁法が用いられている。 ○さばを日常的に食べる文化が見られ，国内において食材として消費されるとともに，輸出を拡大する取り組みが進められている。
エ	357	○首都は乾燥帯に位置しており，日本に輸出される魚粉の原料となるかたくちいわしの漁場周辺では，南から北へ寒流が流れ，大小様々な漁船が操業している。 ○かたくちいわしを日常的に食べる文化は見られないが，山岳地域に居住する国民のたん白質摂取不足を解消するため，食用として加工する取り組みが進められている。

（「データブック　オブ・ザ・ワールド」2018 年版などより作成）

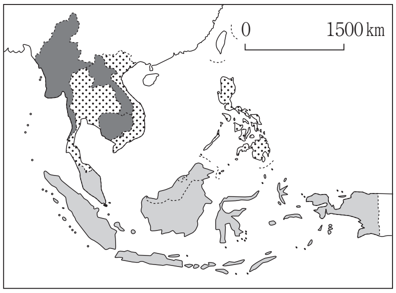
〔問３〕 次のⅠの略地図は，2016年における日本と東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国それぞれの国との貿易額について，日本の輸出額から日本の輸入額を引いた差を示したものである。Ⅱの略地図は，2016年における日本と東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国それぞれの国との貿易額について，日本の輸入額が最も多い品目を，「医薬品」，「衣類と同付属品」，「鉱産資源」，「電気機器」に分類して示したものである。Ⅲの文章で述べている国に当てはまるのは，あとのア～エのうちのどれか。

Ⅰ



1兆円以上　　5000億円～1兆円未満
0円～5000億円未満　　0円未満

Ⅱ



医薬品　　衣類と同付属品
鉱産資源　　電気機器

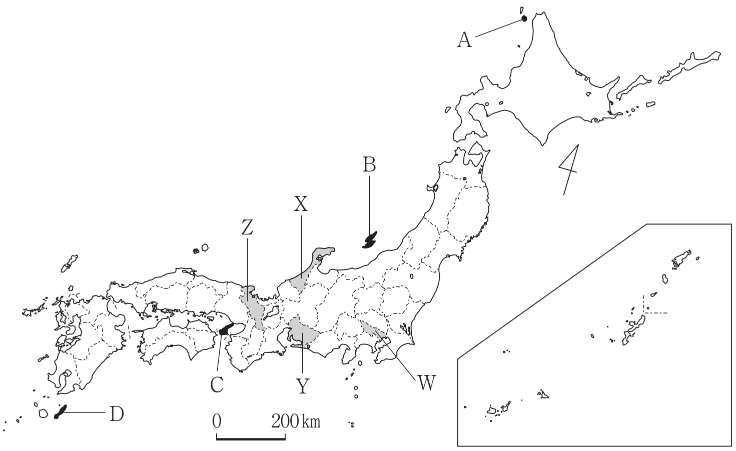
（「データブック　オブ・ザ・ワールド」2018年版などより作成）

Ⅲ

フランスから1953年に独立し，その後に始まった内戦が1990年代に終結した後，1999年に東南アジア諸国連合（ASEAN）に加盟した。2000年代に入り，世界遺産に登録されているヒンドゥー教寺院などの遺跡群を活用した観光業に加え，工業化を推進している。
1990年代までのこの国からの日本の輸入品は木材などの一次産品が最も多く，日本の貿易黒字が継続する傾向であったが，この国の工業化の進展に伴って変化が見られた。2000年代からは日本の貿易赤字が継続する傾向に転じ，2016年における日本の最大の輸入品は衣類などであり，日本からこの国への輸出額は333億円，日本のこの国からの輸入額は1310億円であった。

ア　タイ　　イ　カンボジア　　ウ　ミャンマー　　エ　ベトナム

3　次の略地図を見て，あとの各問に答えよ。



〔問１〕　次の表のア～エの文章は，略地図中に■で示した，A～Dのいずれかの島の2015年における人口，自然環境，産業と地域振興の様子についてまとめたものである。略地図中のA～Dのそれぞれの島に当てはまるのは，次の表のア～エのうちではどれか。

	人口(人)	自然環境，産業と地域振興の様子
ア	29847	○島の全域に平坦な丘陵が見られ，宇宙開発の拠点となる施設を活用した観光業とともに，さとうきびなどを生産する農業が主な産業となっている。 ○島外の大学と連携したり，企業や研究施設などを積極的に誘致したりして，島内における雇用の拡大を図っている。
イ	5090	○島の中央部には火山が見られ，国立公園を活用した観光業とともに，高級品として知られる昆布やうにを養殖するなどの漁業が主な産業となっている。 ○全国から漁業就業希望者を募集して，漁業体験研修を実施し，就業支援を行うなど，島内における後継者の育成を図っている。
ウ	57255	○島の中央部には，北側と南側にある山地に挟まれた平野が見られ，鉱山跡の遺跡を活用した観光業とともに，銘柄米などを生産する農業が主な産業となっている。 ○製粉した米を原料とした加工品の製造販売を行うなど，農業の第6次産業化を推進し，島内における雇用の拡大を図っている。
エ	135147	○島の北部には丘陵，中央部には平野，南部には山地が見られ，漁業とともに，レタスなどの野菜を生産する農業が主な産業となっている。 ○島外へ通勤する住民に対して交通費などを補助する事業を行うなど，島内における定住者の増加を図っている。

（2015年国勢調査などより作成）

〔問２〕　次のⅠの表のア～エは，略地図中に　　で示した，W～Zのいずれかの都府県の，2016年における，製造業事業所数，製造業事業所数のうち繊維工業事業所数，製造業従業者数，製造業従業者数のうち繊維工業従業者数，製造品出荷額を示したものである。Ⅱの文章は，W～Zのいずれかの都府県の製造業などの様子についてまとめたものである。Ⅱの文章で述べている都府県に当てはまるのは，Ⅰの表のア～エのうちのどれか，また，略地図中のW～Zのうちのどれか。

Ⅰ

	製造業事業所数	繊維工業事業所数	製造業従業者数（人）	繊維工業従業者数（人）	製造品出荷額（億円）
ア	21092	1082	285437	6481	85452
イ	21856	1674	834236	22201	461948
ウ	4037	798	97179	11389	28276
エ	6506	1474	141952	10796	53624

（2016年経済センサスより作成）

Ⅱ

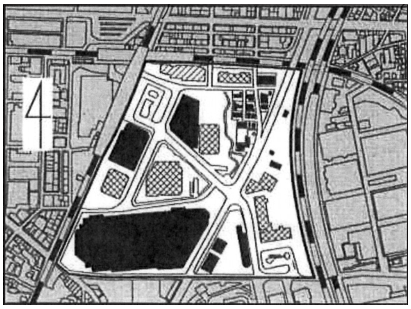
○2016年の繊維工業事業所における１事業所当たりの平均従業者数は10人未満であり，伝統的工芸品に指定されている西陣織（にしじんおり）などを生産する小規模な事業所が立地する町並は観光資源としても活用されており，町屋などの歴史的景観を保存する取り組みが進められている。

○伝統的工芸品を生産する高度な技術は，電子・精密機械産業などの他の産業に応用されており，この都府県内に所在する企業は，世界的に評価されている高度な技術を有し，大学などと共同して研究開発を行っている。

〔問3〕 次のⅠとⅡの略地図は，1999年と2017年における首都圏に位置するA市の一部を示したものである。Ⅲの表は，ⅠとⅡの略地図中に太線（━━）で囲まれた地域の，1999年と2017年における人口を示したものである。Ⅰ～Ⅲの資料から読み取れる，1999年と比較した2017年における太線（━━）で囲まれた地域の変容について，立地及び土地利用に着目し，簡単に述べよ。

Ⅰ

（1999年）　0　200m

Ⅱ

（2017年）　0　200m

☼工場　■10階以下の建物　▨11～20階の建物　▩21階以上の建物

（国土地理院のホームページなどより作成）

Ⅲ

	1999年	2017年
人口（人）	269	6017

（総務省の資料などより作成）

4 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

私たちの社会では，人が移動したり，ものなどを移動させたりすることで，生活の様子が変化してきた。

古代から，各時代の権力者は，(1)政治を行う拠点を移し，政治体制の刷新や整備を図り，権力基盤を強化してきた。

近世に入ると，造船技術の向上や海上航路の開拓などにより人の移動する範囲が拡大し，海外との貿易が盛んになった。また，(2)我が国から東南アジアに渡り，定住する者も現れた。

明治時代以降，(3)欧米の技術を取り入れたことで，より多くの人やものの移動が可能となり，経済が活性化して欧米諸国に並ぶ発展を遂げた。

さらに，船舶の大型化や航空機の高速化が進むと，人やものなどの海外への移動が一層円滑になり，(4)我が国も様々なものを輸入したり，輸出したりするようになった。

〔問1〕 (1)政治を行う拠点を移し，政治体制の刷新や整備を図り，権力基盤を強化してきた。とあるが，次のア～エは，飛鳥(あすか)時代から安土(あづち)・桃山(ももやま)時代にかけての政治を行う拠点の様子などについて述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア 織田信長(おだのぶなが)は，水運と陸上交通が結び付く要衝の地に拠点を移し，城を築いた山の麓に城下町を整備し，楽市・楽座の政策を進め，商工業を重視する体制を推進した。

イ 桓武(かんむ)天皇は，鴨川(かもがわ)と桂川(かつらがわ)が流れる地に拠点を移し，東寺(とうじ)，西寺(さいじ)などの一部を除き，寺院を建てることを禁止して，貴族や僧の権力争いによる政治的混乱からの立て直しを図った。

ウ 元明(げんめい)天皇は，和同開珎(わどうかいちん)が流通し始めた頃，盆地の北端に位置する地に拠点を移し，貴族の住居などを整備し，律令(りつりょう)制による政治体制を整えた。

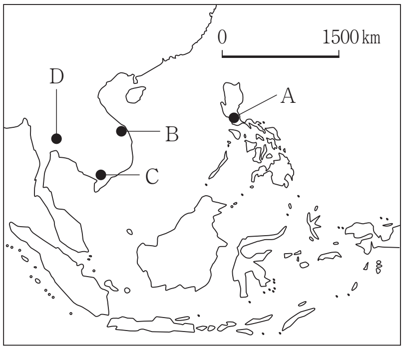
エ 平清盛(たいらのきよもり)は，宋(そう)との貿易港である大輪田泊(おおわだのとまり)に近接した地に拠点を移し，法皇を中心として貴族と寺社が集まっている地から離れて平氏政権の確立を図った。

〔問２〕 (2)我が国から東南アジアに渡り，定住する者も現れた。とあるが，次のⅠの略年表は，室町時代から江戸時代にかけての，我が国の海外との交流に関する主な出来事についてまとめたものである。Ⅱの略地図中のA～Dは，Ⅰの略年表中のある時期に日本町が栄えた都市を示したものである。Ⅲの文章は，ある時期の我が国の貿易の様子などについて述べたものである。Ⅲの文章で述べている貿易が行われた時期に当てはまるのは，Ⅰの略年表中のア～エの時期のうちではどれか。また，Ⅲの文章で述べている日本町に当てはまるのは，Ⅱの略地図中のA～Dのうちのどれか。

Ⅰ

西暦	我が国の海外との交流に関する主な出来事	
1432	●足利義教(あしかがよしのり)が道淵(どうえん)を明(みん)に派遣した。	
		ア
1549	●フランシスコ・ザビエルが来日し，キリスト教を伝えた。	
		イ
1582	●大友義鎮(おおともよししげ)・有馬晴信(ありまはるのぶ)・大村純忠(おおむらすみただ)らが，天正(てんしょう)遣欧使節を派遣した。	
		ウ
1690	●ケンペルがオランダ商館の医師として来日した。	
		エ
1792	●ラクスマンが大黒屋光太夫(だいこくやこうだゆう)を護送して来日した。	

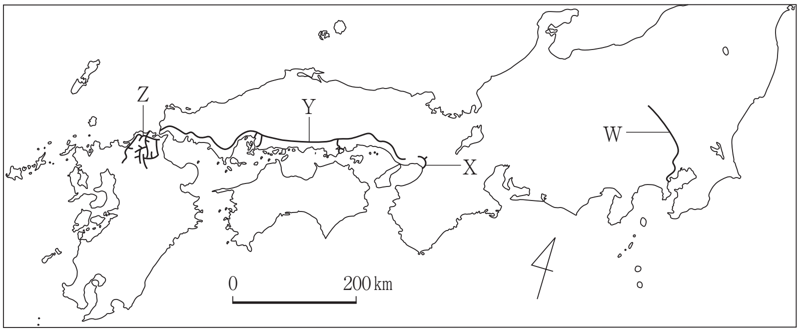
Ⅱ



Ⅲ

幕府は，朱印状(しゅいんじょう)と呼ばれる書状を我が国の商船に与え，海外へ渡ることを許可し，東南アジアの国々に対しても，朱印状を持つ商船を保護することを求め，貿易体制を整備した。また，自治権をもつアユタヤの日本町では，王室に重く用いられる日本人も現れた。

〔問３〕 (3)欧米の技術を取り入れたことで，より多くの人やものの移動が可能となり，経済が活性化して欧米諸国に並ぶ発展を遂げた。とあるが，次の略地図中のW～Zは，1919年における我が国の鉄道の一部を示したものである。あとのア～エは，W～Zのいずれかの鉄道の役割について述べたものである。W～Zのそれぞれに当てはまるのは，あとのア～エのうちではどれか。



（「日本国有鉄道百年史」などより作成）

ア　かつて「天下の台所」と呼ばれた上方（かみがた）の大都市と郊外とを電車で結び，駅を中心に住宅や観光施設が建てられるなど，沿線を開発する役割を果たした。

イ　江戸時代に発達した西廻（にしまわ）り航路の一部と競合する形で，外国人居留地があった都市を起点に西へ路線を延ばし，沿線にある港や軍事拠点を結び，陸上輸送手段としての役割を果たした。

ウ　日清戦争後にドイツの技術を導入した官営製鉄所が建てられた地域と，炭鉱の開発が進んだ周辺の炭田地帯とを結び，石炭輸送の役割を果たした。

エ　フランスの技術を導入した官営模範工場が建てられた生糸の生産地と，生糸輸出の中心となった貿易港とを結び，外貨獲得のための生糸の輸送を拡大する役割を果たした。

〔問４〕 (4)我が国も様々なものを輸入したり，輸出したりするようになった。とあるが，次の略年表は，明治時代から昭和時代にかけての，我が国の輸入品に関する主な出来事についてまとめたものである。略年表中のＡの時期に当てはまるのは，あとのア～エのうちではどれか。

西暦	我が国の輸入品に関する主な出来事
1884	●日本橋（にほんばし）の商店がアメリカ合衆国製万年筆を販売した。
1926	●東京駅と上野駅でドイツ製入場券自動販売機の使用を開始した。
1946	●マニラから輸入された 1000 トンの小麦粉が，東京港に到着した。 ↑A
1960	●我が国の航空会社が購入したアメリカ合衆国製ジェット旅客機が，東京国際空港（羽田（はねだ）空港）に到着した。 ↓A
1981	●銀座（ぎんざ）に開店したフランス企業の直営店が，高級鞄（かばん）を販売した。

ア　第四次中東戦争の影響を受けて発生した石油危機を，我が国は省エネルギー技術をより高めて，自動車などの輸出を拡大して乗り切ったが，欧米諸国との間で貿易摩擦が生じた。

イ　ニューヨークで始まった株価の暴落が世界恐慌（きょうこう）に発展する中で，我が国からの輸出は大きく減少し，企業の倒産や人員整理で失業者が増加する深刻な恐慌状態に陥った。

ウ　ヨーロッパを主な戦場とする第一次世界大戦が始まると，我が国からアメリカ合衆国やアジアの国々に向けた綿織物や生糸の輸出が増加し，貿易黒字となった。

エ　サンフランシスコ平和条約（講和条約）を結び，国際社会に復帰して経済復興が進む中で，関税と貿易に関する一般協定（GATT）に加盟し，我が国の貿易額は増加して好景気を迎えた。

5 次の文章を読み，あとの各問に答えよ。

経済は，家計，企業，政府が主体となって動いている。私たちの生活は，収入と支出から成り立つ家計と深く関わり，主な収入としては，(1)働くことによって得る賃金などがあり，その金額は時代とともに変化してきた。

一方，支出には，(2)企業などが生産した生活必需品の購入代金があり，家計と企業は深く結び付いている。

私たちの暮らしをより良くするため，政府が行う経済活動を財政と呼び，(3)この財政は，家計や企業から支出される税金などで賄われている。また，財政の在り方に国民の意思が十分に反映されるよう，(4)国の財政を処理する権限は，国会の議決に基づいて，これを行使しなければならない，と日本国憲法で定められている。

このように，家計，企業，政府が関わり合って，我が国の経済は発展している。

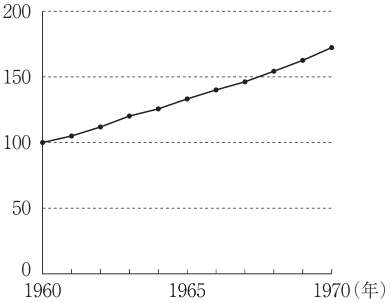
〔問１〕 (1)働くことによって得る賃金などがあり，その金額は時代とともに変化してきた。とあるが，次のⅠの文は，1960年に閣議決定された国民所得倍増計画の構想の一部を抜粋したものである。Ⅱのグラフは，我が国の消費者物価指数について，1960年から1970年までの推移を1960年を100とした指数で示したものである。Ⅲのグラフは，我が国の一人当たりの月間現金給与額について，1960年から1970年までの金額の推移を示したものである。Ⅰ～Ⅲの資料を活用し，1960年と1970年を比較した国民生活の変化について，消費者物価指数と月間現金給与額の増加割合に着目し，簡単に述べよ。

Ⅰ

> 国民所得倍増計画は，速やかに国民総生産を倍増して，雇用の増大による完全雇用の達成をはかり，国民の生活水準を大幅に引き上げることを目的とするものでなければならない。

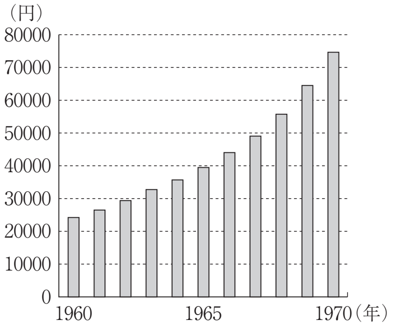
（経済企画庁編「国民所得倍増計画」1960年より作成）

Ⅱ



（総務省の資料より作成）

Ⅲ



（厚生労働省の資料より作成）

〔問２〕 (2)企業などが生産した生活必需品の購入代金があり，家計と企業は深く結び付いている。とあるが，次のⅠの表は，我が国の1970年から2015年までの消費支出を，月当たり，一世帯当たりに換算し，更に食料費，光熱・水道費，被服及び履物（はきもの）費，家具・家事用品費，交通・通信費，その他の項目について，消費支出に占める割合の推移を示したものである。あとのⅡの文章は，被服及び履物費について述べたものである。Ⅱの文章で述べている項目に当てはまるのは，次のⅠの表のア～エのうちではどれか。

Ⅰ

	消費支出	食料費(%)	ア(%)	イ(%)	ウ(%)	エ(%)	その他(%)
1970年	82582円	32.2	9.3	5.5	4.1	5.1	43.8
1975年	166032円	30.0	9.0	6.6	4.1	5.0	45.3
1980年	238126円	27.8	7.5	8.5	5.3	4.2	46.7
1985年	289489円	25.7	7.0	9.7	5.9	4.2	47.5
1990年	331595円	24.1	7.2	10.1	5.1	4.0	49.5
1995年	349663円	22.6	6.0	11.0	5.6	3.7	51.1
2000年	340977円	22.0	5.0	12.8	6.2	3.3	50.7
2005年	328649円	21.6	4.6	14.3	6.5	3.1	49.9
2010年	318211円	21.9	4.3	15.1	6.8	3.3	48.6
2015年	315428円	23.6	4.3	15.8	7.3	3.5	45.5

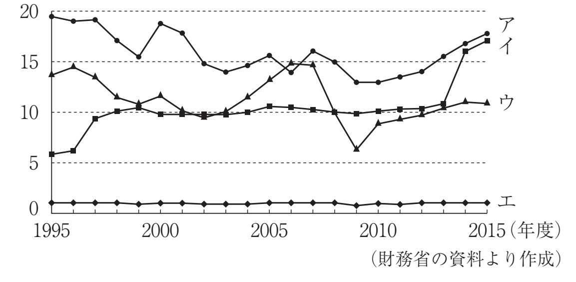
（総務省統計局「家計調査年報　平成27年　家計収支編」などより作成）

Ⅱ

消費支出に占める割合は，1970年から2015年にかけて減少傾向にある。近年の傾向には，百貨店での購入の減少などが影響している。また，2010年から2015年にかけて，食料費の消費支出額が増加しているのに対し，被服及び履物費は約13000円台で推移している。

〔問３〕 (3)この財政は，家計や企業から支出される税金などで賄われている。とあるが，次のⅠのグラフのア～エは，1995年度から2015年度までの我が国の法人税，消費税，関税，所得税の収入額の推移について示したものである。Ⅱの文章で述べている税に当てはまるのは，Ⅰのグラフのア～エのうちのどれか。

Ⅰ



（財務省の資料より作成）

Ⅱ

株式会社などが，事業活動を通じて得た所得に課せられる国税で，事業規模によって税率が決定される。景気の変動を受けやすく，世界金融危機後の2年間で約6割の下落を記録した。

〔問４〕 (4)国の財政を処理する権限は，国会の議決に基づいて，これを行使しなければならない，と日本国憲法で定められている。とあるが，次のⅠのA～Eは，第183回通常国会で「平成25年度予算案」の議決までの経過について示したものである。Ⅱの機関が開かれたのは，あとのア～エのうちではどれか。

Ⅰ

A　第183回通常国会が開会される。（1月28日）
B　衆議院・参議院に平成25年度予算案が提出される。（2月28日）
C　衆議院で平成25年度予算案が可決される。（4月16日）
D　参議院で平成25年度予算案が否決される。（5月15日）
E　日本国憲法第60条第2項の規定により，衆議院の議決が国会の議決となる。（5月15日）

（参議院のホームページより作成）

Ⅱ

この機関は，両議院各10名の代表者から構成され，両議院の意見調整が行われる。

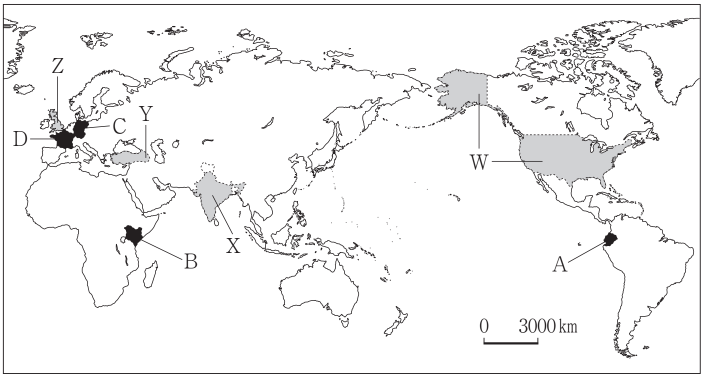
ア　AとBの間　　イ　CとDの間　　ウ　BとCの間　　エ　DとEの間

6　次の文章を読み，下の略地図を見て，あとの各問に答えよ。

現代の社会では，グローバル化の進展などによる急激な変化や新しい課題に対応するため，柔軟な思考や斬新な発想が求められ，(1)世界各地で新たな事実や真理を明らかにするために研究が進められている。

歴史を振り返ると，(2)先人が積み上げてきた研究の成果は，技術開発にも応用され，様々な分野に影響を与えてきた。

また，(3)我が国において開発された最新の技術は，他の国の人々の生活を豊かにするために役立てられている。



〔問１〕　(1)世界各地で新たな事実や真理を明らかにするために研究が進められている。とあるが，次の表のア～エの文章は，略地図中に■で示したA～Dのいずれかの国の歴史と国内に立地する研究所の活動などについて述べたものである。略地図中のA～Dのそれぞれの国に当てはまるのは，次の表のア～エのうちではどれか。

	国の歴史と国内に立地する研究所の活動など
ア	○この国は，世界各地に複数の植民地を有していたことで知られており，1789年に人権宣言を発表し，その後，王政（王制）が廃止されて共和政（共和制）となった。 ○この研究所は，エボラ出血熱などのウィルス遺伝子を解析し，感染症の原因となる微生物などの研究を行っている。
イ	○この国は，「種の起源」を著したダーウィンが調査に訪れた諸島が領土に含まれることで知られており，インカ帝国が滅ぼされた後にスペインの支配を受け，1830年に独立した。 ○この研究所は，多くの野生動物の固有種が生息する諸島の中に立地しており，島の生態系の保全に関する調査や野生動物の生態に関する科学的研究を行っている。
ウ	○この国は，明治時代に我が国の医学者が留学していたことで知られており，第二次世界大戦終了後に二つの国に分断されたが，分断の象徴であった壁が取り壊され，1990年に統一された。 ○この研究所は，現在の人類と化石人骨であるネアンデルタール人の遺伝子を解析するなど，人類の進化に関する研究を行っている。
エ	○この国は，多くの野生動物が生息するサバナが広がる国立公園に世界各地から観光客が訪れることで知られており，1963年にイギリスから独立した。 ○この研究所は，貧困の軽減や環境開発問題に取り組んでおり，焼畑農業に代わる農法を開発するなど，植栽した樹木を利用する農林業に関する研究を行っている。

〔問２〕 (2)先人が積み上げてきた研究の成果は，技術開発にも応用され，様々な分野に影響を与えてきた。とあるが，次のア～エは，それぞれの時代の技術開発について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

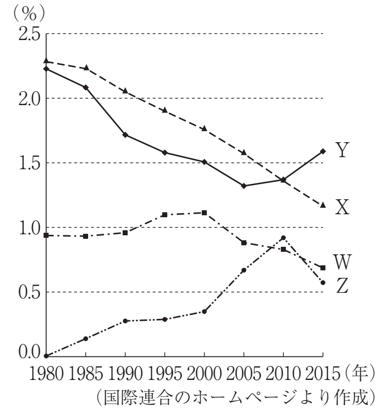
ア　アメリカ合衆国でテネシー川流域の総合開発に代表されるニューディール政策が進められ，政府主導で経済の立て直しが行われた頃，合成繊維であるナイロンが開発された。

イ　イギリスで産業革命が始まり，蒸気を利用して動力を生み出す技術が改良され，初の蒸気機関車を使った鉄道による旅客輸送が行われた。

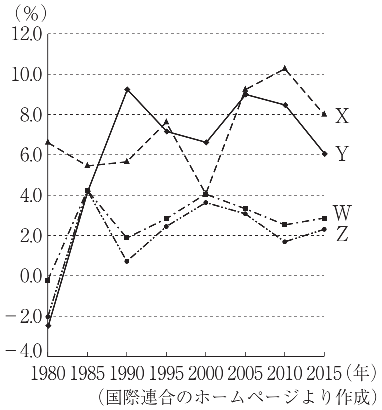
ウ　東側陣営と西側陣営との間で起きた冷たい戦争（冷戦）の時代に，ソビエト社会主義共和国連邦は，アメリカ合衆国とロケット技術の開発競争を行い，初の有人宇宙飛行に成功した。

エ　アメリカ合衆国で南北戦争後に大陸横断鉄道が開通し西部の開発が進む中で，音を電流に変換して伝える技術を用いた電話の実験に成功した。

〔問３〕 (3)我が国において開発された最新の技術は，他の国の人々の生活を豊かにするために役立てられている。とあるが，Ⅰのグラフの W～Z は，略地図中に ▭ で示した W～Z のそれぞれの国の 1980 年から 2015 年までの人口増加率の推移を示したものである。Ⅱのグラフの W～Z は，略地図中に ▭ で示した W～Z のそれぞれの国の 1980 年から 2015 年までの経済成長率の推移を示したものである。Ⅲの文章で述べている国に当てはまるのは，略地図中の W～Z のうちのどれか。

Ⅰ


（国際連合のホームページより作成）

Ⅱ


（国際連合のホームページより作成）

Ⅲ

○人口増加率は上昇した時期もあり，総人口の約５分の１が，海峡で隔てられた経済や文化の中心都市に集中している。
○経済成長率は 5.0％を上回る時期もあり，経済発展に伴う交通渋滞の緩和に向け，我が国の企業が，かつてコンスタンティノープルと呼ばれた都市に総延長約 13.6 ㎞の海峡横断鉄道トンネルを建設した。

〈 ***Note*** 〉

2019年度　東京都公立高校入試問題

1 〔問 1〕B.　ウ　C.　ア　D.　イ　E.　エ　〔問 2〕イ　〔問 3〕ア

2 〔問 1〕（略地図中の A～D）A　（Ⅱのア～エ）ウ　〔問 2〕W.　エ　X.　ア　Y.　ウ　Z.　イ
〔問 3〕イ

3 〔問 1〕A.　イ　B.　ウ　C.　エ　D.　ア
〔問 2〕（Ⅰの表のア～エ）エ　（略地図中の W～Z）Z
〔問 3〕複数の鉄道が利用できる交通の利便性が高い地域であり，再開発により工場，駐車場，厚生施設であった場所に高層マンションなどが建設され，人口が増加した。（同意可）

4 〔問 1〕ウ→イ→エ→ア　〔問 2〕（Ⅰの略年表中のア～エ）ウ　（Ⅱの略地図中の A～D）D
〔問 3〕W.　エ　X.　ア　Y.　イ　Z.　ウ　〔問 4〕エ

5 〔問 1〕消費者物価指数よりも月間現金給与額の増加割合が大きく，生活水準が引き上げられた。（同意可）
〔問 2〕ア　〔問 3〕ウ　〔問 4〕エ

6 〔問 1〕A.　イ　B.　エ　C.　ウ　D.　ア　〔問 2〕イ→エ→ア→ウ　〔問 3〕Y